

令和5年3月17日

3. 4年生における算数科少人数指導

鹿児島市立星峯西小学校

1 算数科少人数指導のねらい・目的

- 本校の子ども一人一人に「確かな学力」を確実に身に付けるためには、個に応じたきめ細やかな指導が大切である。そのために高学年に上がる前の中学年期に、その具体策として3クラス4展開による算数科少人数指導を行うようにする。

2 実施方法等

(1) 実施学年

第3, 4学年

(2) 指導体制及び使用教室

学級担任とせせらぎ5組担任（算数科少人数指導教員）の4名体制

*担任3教室と算数科少人数室1教室の計4教室を使用する。

(3) 実施方法（3クラス4展開）

3学級を4クラスに分けてより少ない人数できめ細やかな指導を行う。

*時間割

・3, 4年ともに同曜日の同校時に一斉に時間割を組んで授業を行う。

*クラス編成

◎ 固定化しないクラス分けで单元ごとにクラス編成をする。

・ 習熟度別, 興味・関心・意欲別, 等質集団などいろいろな編成方法を試行しながら, その効果を検証していく。

・ ただし, せせらぎ5組在籍の児童は, 必ずせせらぎ学級担任が指導する。

*成績処理の方法

・ 基本的には指導した担当教員4人が採点を行い, 各クラスに返却し, 成績処理を行う。

*授業以外の補充指導の時間との関連

・ 土曜授業: パワーアップタイム(45分)で算数を行う際は3クラス4展開で行うことも可能とする。

*デジタルドリルの活用

・ 少人数指導に加えてデジタルドリルを組み合わせた学習指導の効果を検証する。

4 その他

- ・ 第1回学力向上委員会（学力向上策及び昨年度学力検査結果）について全教職員に説明する際に中学年少人数指導についても説明する。（実施目的、実施方法等）
- ・ 「学力向上策」として学校の取組として学校だよりも記述して学校HPに掲載し、保護者に趣旨目的等を説明する。